

令和 4 年度 墨田区立 押上小 学校 経営報告書

令和 5 年 3 月 1 5 日

学 校 目 標	○知・徳・体のバランスのとれた人材育成				
目 指 す 学 校 像	○地域や保護者から信頼される学校				
目 指 す 子 供 像	○挑戦する子 ○つながる子 ○働く子				
目 指 す 教 師 像	○組織的な教育活動ができる教師				
項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
活 指 導 等	学校は、いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行っているか。	B	・週 1 回生活指導朝会を行い、全教職員で具体的な事例や対応策を共有し、いじめや不登校の未然防止・早期対応に努める。	B	B
	学校は、基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組んでいるか。	B	・生活指導部だよりを定期的に発行し、全学級で基本的な生活習慣を身に付ける取組を徹底する。 ・異学年交流（登校班、縦割り班活動）を通して、思いやりの心や互いに協力する態度を育てる。	B	B
	学校は、危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	B	・月 1 回、具体的な災害場面を想定した避難訓練を実施する。 ・看護当番による休み時間等の安全看護を徹底する。	B	B
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立つか。	B	・学校評価アンケートや行事ごとのアンケート調査を通して保護者からの意見を集約し、改善を図る。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの安全のため、登校班はこれからも継続していくべきである。 ・登下校時、元氣よくあいさつできる子供が増えてきているように感じている。引き続き指導をお願いしたい。 ・学校だけに任せるのではなく、家庭や地域の協力も必要である。 			
項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学 校 の 管 理 運 営	学校は、経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行っているか。	B	・自己申告の面談時等で、各担当者の責任と役割を確認し、効果的な教育活動・学校運営を行う。 ・各担当者が「一改善一工夫」を意識した教育活動を行う。	B	B
	学校は、子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行っているか。	B	・前例踏襲ではなく、児童の実態に即した教育活動を行う。 ・教育活動後はすぐに振り返りを行い、全教職員で共有し、次の教育活動に反映する。	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整えているか。	B	・全教職員が、危機管理意識をもって職務を行う。 ・日常の安全点検を確実にし、危険箇所の共有・確実な対応を行う。改善箇所については、区へ要望する。	B	B
	学校は、組織的な人材育成を行っているか。	B	・主幹会議（管理職、教務主任、生活指導主任）で、進捗状況の確認、経営課題についての意見交換を行う。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・校長のリーダーシップの下、教職員が協力して教育活動を行っている様子が感じられる。 ・コロナ禍の中、子供達のがびのび育つ環境作りを手がけてほしい。 			

様式 4

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施しているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業（導入）では、既習学習を活用した場面を設定する。 学習内容を確実に定着させるため、金曜日の朝学習等を活用して補充学習に取り組む。 1日1回以上、ICT機器を活用した授業を行う。 	B	B
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援指導員を活用し、特別な支援を必要とする児童の支援を行う。毎月校内委員会を開き、支援策について検討する。 放課後学習を改善し、学習内容を確実に身に付ける。 	B	B
	学校は、社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。	B	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる場面を活用して、人権教育・道徳教育を行う。 「特別な教科 道徳」で、考え議論する道徳の実践に取り組む。 近隣保育園と小学校訪問等の呼応流活動を行い、文花中学校との児童、生徒との交流活動を行う。 	B	B
	学校は、教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。	B	<ul style="list-style-type: none"> 日々の学習活動を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け教員の授業力向上及び児童の学力向上を図る。 主幹教諭が指導し、主任教諭を中心に、授業力向上をねらいとした授業参観や研修会等の校内OJT研修を行う。 	B	B
	学校は、子供の体力向上を図るための、体育授業、体育的行事に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 「押上かけとび運動」を全学級で行い、運動量を増やす。 体力づくり週間（短なわ跳び、長なわ跳び）に取り組む。 ボールを投げる運動や柔軟性を高める運動を増やす。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<p>コロナ禍の中、全国学力状況調査や墨田区学力状況調査において学区力が向上しているのは、教職員の努力の成果である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現運動発表会や学習発表会など工夫しながら新しい形の行事を行うことができた。 一人一台タブレットが配布され、授業の他に自ら興味をもったことを調べることができ、学習への意欲、思考力が高まってきている。参観する機会を増やしてもらいたい。 			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校便り巻頭で、教育目標や経営方針等、教育活動への取組について、わかりやすく伝えていく。 学校ホームページを毎週更新し、教育活動の様子を伝える。 	B	B
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事やPTA行事への積極的に参加する。 学校関係者評価、学校行事や学校公開のアンケートを教育活動に反映させる。 	B	B
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 月1回、具体的な災害場面を想定した避難訓練を実施する。 看護当番による休み時間等の安全看護を徹底する。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 学校は、保護者や地域と連携して教育活動の充実に努めている。 コロナ禍で地域行事やPTA行事に制限があったが、工夫した活動を行えた。 アンケートで「わからない」という回答が減り、肯定的評価が増えたので安堵している。 			

様式 4

2 令和 4 年度学校評価のまとめ

- ・本校の教育目標「挑戦する子」「つながる子」「働く子」の実現に向けて取り組み、地域やPTAに対して学校経営方針をわかりやすく伝え、理解と協力を求めた。学校評価では、「教育方針や教育活動の説明」の項目で93%の肯定的評価を受けた。
- ・学力向上に向けて取り組みでは、学習習慣の定着を図るための「振り返りシート」の活用、放課後の補習学習、家庭学習の定着に力を入れてきた。日々の取組の成果が区学力調査の好結果に繋がった。全学年、全国水準、またはそれを5～10ポイント以上、上回る数値が見られた。今後も、学力向上推進委員会を中心に学力向上へ取り組みを進め、児童一人一人に学びの喜びを実感させていく。
- ・学年主任を中心に授業力向上に取り組んだ。学校評価では、「教職員の資質の向上」の項目で93%の肯定的評価を受けた。教職員の授業力向上から児童の学力向上につなげていきたい。
- ・学校評価では、「あいさつ」の項目で70%以上の肯定的評価であり前年度より5%以上向上した。コロナ禍の中ではあったが、生活指導部や計画委員会を中心にあいさつ運動に取り組んだ。地域、保護者の皆様もとても協力的である。今後も学校と地域、保護者の連携を大切にして児童の育成に取り組んでいきたい。

以上の通り報告いたします。

墨田区立押上小学校 校長 島田 和久

